

"Great Wall" Street Journal

長城街日報

～中国株の現場から～

No.057 (不定期刊行)

東洋証券株式会社
上海駐在員事務所 所長
奥山 要一郎
2007年入社。本社シニアストラテジ
スト等を経て、2015年より現職



キラリと光る“ジモティー銘柄”

「オラの街を代表する企業なんだよ！」——。意訳すればこのようになるだろうか。中国の地方都市を訪れると、現地の人がよく口にする言葉だ。“地元LOVE”を前面に出し、皆がまるでその街の広報担当のように見えてくる。株式市場でも、海外投資家が発掘することが難しい、いわゆる“ジモティー(地元の人)銘柄”が数多くある。

★ ★ ★ ★ ★

湖北省武漢では、同市を拠点とする**周黒鴨**(ジョウヘイヤ、01458)の黄色い看板や店舗が目立つ。同社はオリジナルの「ピリ辛アヒルの鹵菜(ルサイ＝中華香辛料に漬けた惣菜)」の専門販売店。今や全土で1255店を展開中だ(19年6月末時点)。中国で圧倒的支持を受ける“ブランド食品”で、現地では軽食やおつまみの代表的存在。「鴨脖(ヤーボー)」という首肉をしゃぶりながら食べるのが定番だが、独特の風味や匂いも重なり、日本人は若干グロテスクに感じるかも……。私も先日、飛行機の隣席でこれを食べられた時は辟易した。

山東省濰坊(いほう)を代表する企業は**歌爾**(002241)だ。地元出身の社員は「海産物の支給もあるし、福利厚生はとても良い」と自画自賛。生まれ育った地に立派な就職先があるのは、故郷を大切にする中国人にとって誇りあることだ。タクシー運転手も同社のことを誇らしげに語っていた。ただ、「あの会社は給与遅配がないんだよ！」という微妙な内容だったが……。まあ、超大事なことではある。

四川省成都では**成都紅旗連鎖**(002697)の存在感が大きい。



中国人なら誰もが知ってる「周黒鴨」

街中では、赤と青のストライプ模様の看板を掲げた同社店舗を数多く見ることができる。約3000店のスーパーやコンビニを展開するが、地元以外への出店計画はないという。あくまで地元消費者を一番に考え、その中でビジネスを行う。この“男気”に敬意を表し、「蜀の小売王者」と呼ばせていただこう。もっとも、四川省は人口8000万人超なので、そもそもが超巨大市場なのだが。

一方、地元でライバル関係にある企業も見られる。湖南省長沙では建機大手の**中聯重科**(01157)の広告が目立つ。かつては**三一重工**(600031)も拠点を置いていたが、“ライバル企業”の嫌がらせや営業妨害にうんざりし、本社を北京に移転した。三一側にスパイ疑惑が持ち上がったこともあり、今も両者は犬猿の仲のようだ。「国有の中聯」「民間の三一」という企業スタイルからしても対照的である。

内モンゴル自治区のフフホトでは、**伊利**(600887)と**蒙牛乳業**(02319)の争いが激しい。蒙牛は、伊リの副社長だった牛根生氏が独立して立ち上げた企業。その背景には、伊りの幹部と仲違いして職を解かれたことがあったというから……。地元ならではの様々なドロドロ劇もあるようだ。

★ ★ ★

中国各地をめぐる、キラリと光るローカル企業が活躍する場面に遭遇する。そのビジネス現場では、北京や上海、香港などの大都市ではなかなか目にすることができない光景が広がっている。外国人投資家には馴染みがないが、地方での知名度は抜群。大企業ではなく、このような“ジモティー企業”の動向にも注視していきたい。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

◆ 注 意 事 項 ◆

外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650%（税込み）の手数をいただきます。約定代金の 1.2650%（税込み）に相当する額が 3,300 円（税込み）に満たない場合は 3,300 円（税込み）、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売の場合には差し引いた額）に対して最大 0.8800%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。
 ・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.75%となるように設定したものです。
 ・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。
 ・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880%（税込み）の手数をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
 ・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400%（税込み）の手数をいただきます。約定代金の 4.400%（税込み）に相当する額が 2,750 円（税込み）に満たない場合は 2,750 円（税込み）の手数をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
 ・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

利益相反情報について

この資料を掲載後、掲載された銘柄を対象とした E B 等を東洋証券（株）が販売する可能性があります。
 なお、東洋証券（株）および同関連会社の役員またはその家族がこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

この資料は、東洋証券（株）が各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点の見通しであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券（株）は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

この資料の著作権は東洋証券（株）に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

◇商 号 等：東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 121 号
 ◇加 入 協 会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
 ◇本 社 所 在 地：〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1
 Tel 03 (5117) 1040

<http://www.toyo-sec.co.jp/>

2019年12月17日
 審査部審査済